

## ◇地元産業界との連携事業

『豊富町の持続可能な地域づくりに向けた研究』 担当者：上園昌武（経済学部教授）

共同研究者：西村宣彦（経済学部教授），浅妻裕（経済学部教授），佐藤大輔（経営学部教授），進藤将敏（経営学部准教授），安藤直哉（工学部准教授）

※豊富町との包括連携協定に基づく協働事業の一つとして実施。

### 1. 連携先

豊富町

### 2. 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標

豊富町はかつて人口が1万人を超えていたが、現在は少子高齢化や人口減少が進む過疎地域であり、産業振興や定住促進が大きな課題となっている。

本事業は、こうした豊富町が直面している社会課題の実態を把握し、持続可能な地域づくりに向けた政策提言を行うものである。持続可能性は、環境や資源、生活の質、コミュニティ、人口維持、子育てや教育、産業振興、地方財政など幅広い分野が関わる学際的なテーマであり、多様な専門分野を持つ本学教員がリスクや課題を解決していくための具体的方策、持続可能な地域づくりの方法を検討し、地域住民や自治体に研究成果を還元し、地域貢献につながることを目指す。

### 3. 事業の内容

本事業では、豊富町と連携しつつ、本学教員による研究プロジェクトチームを結成し、多様な専門分野から地域研究に取り組む。豊富町が抱えるリスクや課題を分析のうえで問題の所在を明らかにし、持続可能な地域づくりの方法を検討していく。

また、本学内または現地での勉強会や現地調査研究を行うとともに、オンライン研究会を開催し、外部講師による学習会を開催する。